



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[12月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No61]東北工業大学工学部環境応用化学科学科長教授(環境生態工学)山田一裕氏を訪ねて 北上川の草原再生とその水質浄化能力を評価 環境教育をライフワークとし…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎建設事業者生産性向上の取り組みを工事に活かします～生産性向上に関する取組を入札時の総合評価において評価～…国土交通省◎冬季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議 省庁連絡会議決定 ◎大和川水系大和川等の特定都市河川指定に向けて 流域の自治体等への意見聴取を実施します…国土交通省 ◎環境報告書2021…東京都水道局◎住まい環境整備モデル事業【特定課題対応型】を追加募集します!…国土交通省 ◎「みんなでおうち快適化チャレンジ」2021年冬キャンペーン開始!…環境省 ◎テレビ・温水器の省エネラベル表示が変わります…経済産業省 ◎自社のDX推進状況を正しく把握できていますか?…経済産業省◎地域ぐるみの除排雪体制づくりの課題解決をお手伝いします!～令和3年度克雪体制づくりアドバイザーの派遣を開始～…国土交通省 ◎「明日への道標」財を愛すれど道ありー伊庭貞剛 住友の公害対策ー…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也◎「東京見て歩き」六義園を訪ねて…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集(32)ー平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「ひとり戯事」雑談がヒント…香り藻岩◎建築着工統計[2021年9月]…国土交通省 ◎新製品紹介◎ニュースファックス◎エッセイ西村修一、新田純子

[1月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No62]公財 日本環境整備教育センター 調査・研究グループサブリーダー兼調査・研究グループ調査研究第1チームリーダー 濱中俊輔氏を訪ねて…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「マンションの管理の適正化の推進を図るための基本的な方針」の策定について…国土交通省 ◎「水の里の旅コンテスト2021」受賞企画決定!…国土交通省 ◎令和3年度「生活衛生事業功労者(水道関係功労者)厚生労働大臣表彰」の受賞者を決定しました…厚生労働省 ◎「建築物衛生管理に関する検討会」の報告書を公表します…厚生労働省 ◎フロン排出抑制法に基づくフロン類の再生量等及び破壊量等の集計結果(令和2年度分)を取りまとめました…経済産業省 ◎脱炭素社会の実現をイノベーションで切り拓く企業の取組を応援します…経済産業省 ◎2050年カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の対策をとりまとめ…国土交通省 ◎「長期修繕計画標準様式の修繕積立金に関するガイドライン」の見直しについて…国土交通省 ◎家庭で出来る“冬の省エネ”に取り組みましょう!…東京都環境局 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)…国土交通省 ◎新春インタビュー メタウォーター株式会社 代表取締役社長 山口賢二氏 ◎社会貢献 滝野川第三小学校へ自動水栓を寄贈…東管協組 ◎「明日への道標」創造的破壊による革命…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也◎「東京見て歩き」高尾山の上下水道施設を視察…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶパロディ狂歌集(33)ー平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「ひとり戯事」俯瞰して考え続けたい…香り藻岩 ◎建築着工統計[2021年10月]…国土交通省 ◎新製品紹介◎ニュースファックス◎エッセイ西村修一、新田純子

オミクロン株の感染拡大で蔓延防止重点措置が適用された地域の飲食店は営業時間の大幅な短縮を余儀なくされている。時短によって経済的打撃を被るのは経営者や正規雇用の社員だけではない。女性を中心にアルバイトの学生、外国人、フリーターなども生活苦に追い込まれている。

緊急事態宣言がはじめて発せられた際に読んだ新聞記事がいまだに忘れられない。ひとり暮らしの東京都立大学1年の女子学生はバイト先の居酒屋が休業になり、食べるものにも困る状態になった。これまで実家に頼ってきた家賃と光熱費以外はすべてバイト代で賄ってきた。「母子家庭なのでこれ以上、母に迷惑をかけられない」と困惑する。

そんなとき教職員、卒業生、大学周辺の飲食店が救いの手を差し伸べてくれた。米、じゃがいも、パスタ、缶詰などを無料で配布する。学生時代、わたしもバイトをかけもちして生活費に充てていた。書店、花屋、夜警、家庭教師など何でもやった。金がないときは何日もカップ麺を食べていた。「食べ物を無料でもらえて本当に助かります」と語っていた彼女はいまだどうしているだろう。

格差社会を象徴するようにプロレタリア文学の代表的作家・小林多喜二による『蟹工船』が空前のブームを巻き起こしたことがある。元エリート銀行員の小林はカムチャッカ沖で採れた蟹を缶詰に加工する蟹工船の労働者の過酷な扱いを怒りを込めて告発した。1929年に発表された古典的小説が話題になったのは偶然ではない。まさしく現在のリアルな状況として甦ったのだ。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第387号

令和4年2月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884